

たきた敏幸県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

印旛沼
舟戸大橋

平成25年度工事着手へ

県議会随一の論客

14度目の登壇

森田健作知事再選
3・17県知事選で圧勝



太田昭宏国土交通大臣へ要望する滝田県議 (2/7)

3月17日の知事選で圧勝し、再選を果たした森田健作知事が、最も信頼を寄せる滝田敏幸(たきたとしゆき)県議Ⅱ印西市選出・2期Ⅱは、県議会随一の論客としても注目を集め、その発言力を高めています。

平成25年度当初予算案を審議する2月定例会の一般質問では、通算14度目の登壇を果たし、放射能焼却灰の最終処分場問題、印旛沼舟戸大橋架け替え事業等、県政と北総地域の課題について、県執行部との

滝田議員 舟戸大橋は、県道千葉・白井・印西線の印西市と佐倉市との間にある印旛沼を渡る橋梁で、近年、大規模商業施設が相次いで進出

また、昨年末の政権交代後、国土交通省、環境省はじめ中央への要望活動を展開。滝田県議のイーシアチブで決議された「指定廃棄物の迅速な処理に係る意見書」の提出をはじめ、その政治手腕が高く評価されています。

さらに、千葉ニュータウン事業では、防災拠点都市構想やサッカー・ラグビー等のJタウン構想を提案。県執行部も検討を約束しました。

たきた敏幸県政報告会
北総政経フォーラム
鈴木宗男、来る!
4/18(木) 18時～(17:30開場)
印西市文化ホール・多目的室
「国家と政治、人生を語る」



問合せ・参加申し込み 月～金・10時～17時
滝田事務所・佐藤まで

佐倉市や八千代市との、通勤、買物などに欠かせない橋となっています。

まさに年々活発化する地域間交流を支える一大インフラと申し上げても過言ではありません。

しかし、橋を渡る交通量が1日約1万5千台と多いにもかかわらず、歩道が設置されていないため、車が通行する際に、自転車や歩行者は大変危険な状態となっています。

また、架橋後約50年が経過し、架け替えによる対策が必要とされており、舟戸大橋の架け替えの状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 舟戸大橋については、現橋が耐震不足であるとともに、歩道も未設置のため、新たに架け替えを行うこととしています。今年度は、河川管理者など関係機関との協議・調整や、橋、取り付け道路などの詳細設計を行ってきたところです。

また、来年度には引き続き迂回路となる仮橋の工事に着手する予定としております。今後とも事業の推進に努めてまいります。

県土整備部長 今後の工事の進め方ですが、まずは迂回路となる仮橋を設置し、現況の交通を切り回した後に、旧橋を撤去します。撤去後、下部工の設置、その後、上部工の架設という手順になります。

着工後の予定

滝田議員 平成25年度、すなわち来年度から仮橋の工事に着手することであり、地元の皆様にも、いよいよ事業が目に見えて動き出します。期待も日に日に高まることと思います。

それでは、本橋完成までの全体スケジュール及び工事内容はどのようなものか。

県土整備部長 今後の工事の進め方ですが、まずは迂回路となる仮橋を設置し、現況の交通を切り回した後に、旧橋を撤去します。撤去後、下部工の設置、その後、上部工の架設という手順になります。

たきた敏幸・PROFILE

略歴	
1960年	印西町大森生まれ 大森小、印西中 県立我孫子高校 同志社大学卒業
1982年	同志社大学卒業
1999年	印西市議初当選
2003年	印西市議再選
2007年	千葉県議初当選
2008年	印西市消防団副団長 県議会：総合企画常任委員長
2010年	千葉県ラグビー協会会長
2011年	千葉県議再選
現職	
県議会	環境警察常任副委員長 議会運営委員会委員

●県政と印西市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

たきた敏幸事務所
〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173

千葉ニュータウン

防災拠点都市、Jタウン構想を提案

裂帛の気合で

滝田議員　千葉ニュータウンは、平成25年度末をもつて、新住宅市街地開発事業としての事業は、完了させるとのこと。しかし、土地の処分は、社会経済情勢に大きく影響されますが、今後とも毎年度20ヘクタール以上の処分ができるよう努めてまいります。

森田知事 千葉ニュータ
ウンの宅地処分は、平成23
年度が約24ヘクタール、今
年度は21・5ヘクタールの
処分を見込んでおり、平成

宅地処分方針

滝田議員 新住宅市街地
開発事業終了後に、残った
宅地をどのように販売して
いくのか。

森田知事 事業終了後に残る宅地には、1区画で数十ヘクタールの大街区が数カ所含まれていますが、東京近郊でこれほど広大な面積の土地は大変稀少であります。

このことは、議員ご指摘

24年度末までの処分面積は、約895ヘクタール、全体の73%となる見込みです。

土地の処分は、社会経済情勢に大きく影響されますが、今後とも毎年度20ヘクタール以上の処分ができるよう努めてまいります。

の都心と成田空港の中間に位置する交通便利性や、強固な地盤、豊かな自然環境と併せて、千葉ニュータウンの大きなセールスポイントであると考えています。

今後の宅地処分に当たっては、住宅用地、産業・業務用地のより一層の販売に努めるとともに、大街区のアドバンテージを最大限に生かした企業等の誘致についても検討を進め、地元市と十分に連携を図りながら、千葉ニュータウンの魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

防災拠点構想

滝田議員 首都直下型地震が発生した場合、本県人口の7割が集中する東飾、葛南、京葉地域の後背地として、地盤強固な北総台地に位置する千葉ニュータウンは、防災拠点としても大きな可能性があります。

千葉ニュータウンのポテンシャルを生かしたまちづくり、例えばスポーツタウン、防災拠点都市などの明確なコンセプトを持ち、情報発信の可能なまちづくりを進めていくべきと思うがどうか。

企業庁長 ただいま、議員からも具体的など提案を

いただきましたが、今後とも地域の発展につながるよう、千葉ニュータウンのポテンシャルを生かした企業等の誘致について、地元市とも連携して検討し、取り組んでまいります。

要望 まちづくりの具体的なコンセプトを検討するなど、積極的に千葉県として関与していただくことを要望します。

一時保管による測定値の影響なし

況はどうか。

環境生活部長 県では、
一時保管場所の敷地境界測

滝田議員 放

射能問題の解決には、指定廃棄物の迅速な処理が重要であり、そのためには、国が当初の方針通り、最終処分場の確保に向け、

地元自治体や住民への丁寧な対応のもとに、着実に事業を推進していくことが必要と考えます。

そこで伺います。一時保管場所のほかにおいて、も空間線量測定を行なおうとしていたが、その状況

定地点4地点のほか、周辺地域測定地点として、我孫子市側5地点、印西市側5地点の計10地点を設定し、空間放射線量の測定を行なっています。

周辺地域測定地点における1月24日の測定値は、1時間当たり0・10から0・14マイクロシーベルトで、保管開始前の測定値と同程度であり、一時保管による影響はないものと考えています。

今後とも、24時間体制での管理を行うとともに、空間放射線量を定期的に測定・確認し、公表するなど安全確保に万全を期し、周辺住民の皆様の不安の払しょくと風評被害の防止に努めてまいります。

滝田議員 指定廃棄物の迅速な処理に向けて、国の事業ではあるが、本県選出の国会議員への働きかけを今まで以上に積極的に行なうべきと思うがどうか。

環境生活部長 指定廃棄物の迅速な処理については、
 これまでも国に対して要望
 してきているところですが、
 県としても国に協力してま
 いりますので、本県選出の
 国会議員の皆様にも、ぜひ
 ご協力いただきたいと考え
 ています。

連絡調整会議を設置

滝田議員 県と市の間で結んでいる協定書に基づく連絡調整会議はこうなっているのか。

環境生活部長 一時保管

者間で情報の共有を図って
いくことが重要であると考
えています。

そこで、県と関係5市の連絡調整会議を近く設置し、ごみ焼却灰の搬入、管理や安全対策について、情報の共有や調整を行なっていきたいと考えています。

専門機関設置を提案

滝田議員 次に放射能問題に関連し、昨年12月定例会で私から提案した放射能健康リスク管理アドバイザーについて伺います。

放射性物質問題に、より積極的に対応するため、専門的な立場から助言を得るための機関等を設置すべきではないか。

防災危機管理部長 放射
性物質に対する正しい理解
と知識の普及は、県民の不
安を払しよくする上で、有
効な手段であると認識して

齊藤健環境省政務官へ指定廃棄物の
最終処分場問題で要望書を提出（2/21）

います。

県ではこれまで、放射線に関する電話相談窓口を設置するとともに、県民向けの講習会を県内10カ所で開催し、約800人の方々に参加していただき、放射性物質に関する知識の普及に努めてきたところです。

今後、これまでの取り組みに対する評価をした上で、より積極的な対応について、ご指摘の点も含めて研究してまいります。

国へ最終処分場早期設置を要望

指定廃棄物問題で

指定廃棄物問題で